

The Chiba Physical Therapy Association News
NO.108 , June , 2003



千葉県理学療法士会
ニュース

<http://www.kit.hi-ho.ne.jp/pt-chiba/>

県士会ニュース代表メールアドレス : pt-chiba@kit.hi-ho.ne.jp

INDEX

- ・ 速報 千葉県士会から協会理事 誕生！ P 1
- ・ 日本理学療法士協会代議員会報告 P 1
- ・ 第38回千葉県理学療法士会総会報告 P 3
- ・ 第5回平成14年度理事会報告 P 4
- ・ 第24回平成15年度理学療法士・作業療法士会役員連絡会 P 6
- ・ 役員リレーエッセイ（第6回：電子カルテへの取り組み） P 7
- ・ パワーリハビリテーション研修会のお知らせ P 9
- ・ 求人情報 P10
- ・ 協賛メーカー広告など P11~

■ 速 報 □

千葉県士会から協会理事、誕生！

先月22日より長野県で開催された第32回「日本理学療法士会総会」において役員改選の選挙がなされた。

今年の役員改選では長年、ご尽力された奈良会長が降りられ、中屋久長新会長にバトンがわたったという大きな転換点を迎えました。

また千葉県士会としては藤リハビリテーション学院の両角昌実氏が理事に初当選されました。

◆ 日本PT協会理事就任のご挨拶

藤リハビリテーション学院
両角 昌実

先日、長野で行われました(社)日本理学療法士協会役員選挙で皆様のおかげで当選し、理事に就任することになりました。

私はこれまで、(社)日本理学療法士協会では12年間、部長・部員として広報ならびに渉外活動を行い、他方では全国私立リハビリテーション学校連絡協議会の運営幹事として、広報や教育の質的向上をテーマとした活動に携わり、日本物理療法学会においては会長として学会運営や事務局管理など多方面な活動をしてまいりました。

これら、関連団体における活動において常に重視してきたものは、「各団体間の連携」で、これ無しではそれぞれの発展は困難なものと考えます。今後は、協会活動はもちろんのこと県士会と協会のパイプ役としても頑張っていきたいと思っております。

また、選挙結果公表日の夕方から開催された新役員のミーティングで、業務推進・医

療保険・介護保険部が所属する職能局に配属されることになりました。理学療法士の将来を左右する重要な部署ですので、どこまで自分ができるのか不安に感じるところもありますが、初回ミーティングの自己紹介で「若さを活かしてとにかく動きたいと思っております」と自己アピールしてきましたので、悔いの残らぬよう精一杯仕事をしていきたいと思っております。

実際に理事として動き始めるのは6月中旬以降になると思いますが、情報提供はもちろんのこと、協力依頼もさせていただく場合があるかと思っております。今後ともご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

■ 日本PT協会代議員会報告□

みつわ台総合病院 井田 興三郎

日時 平成15年5月21日(水)
場所 メルパック長野

【報 告】

1. 平成14年度事業報告
 - 1) マスタープランの重点事業の推進をした。
 - 2) 平成14年4月の診療報酬改定に対して単価、件数等の是正の要望書を厚生労働省に提出した。
 - 3) 平成15年度の介護保険改定に向けて要望書を厚生労働省に提出した。
 - 4) 平成15年度より施行の新組織の諸規定の整合性を整備した。
 - 5) 5年間施行の理学療法効果に関するプロジェクトは今後各専門領域研究会にて継続する。

6)平成15年の国家試験合格者は3,629名、合格者累計；37,044名 4月の養成校入学者は7,000名を超えた。今後は、厳しい自由競争の時代になる事が予想される。

7)理学療法の普及、啓蒙の為の商業的放映、ビデオ制作、新聞に理学療法の記事を掲載した。

8)秋田士会、兵庫士会が法人許可を得て29士会が社団法人となった。

2. 平成14年度決算報告

収入	351,000,000円
支出	322,000,000円
繰越金	28,000,000円

3.平成14年度監査報告

- 1)年間業務の執行は順調に行われた。
- 2)財産は適性に管理運営された。

(議事)

1. 提案議題審議

1) 理事会提案議題

(1)第39回日本理学療法学会(H16,5月 仙台市)の大会長に半田 健壽氏が承認された。

(2)名誉会員に埼玉県士会の鈴木 正彦氏が承認された。

2) 士会提案議題

(1) 社会局関連

；福島士会より、厚生労働省の担当官に理学療法協会はあまり役所に来ていないといわれたがとの質問に常勤理事の人件費を予算に計上し、人材を探していると説明がされた。

；日本理学療法士連盟について政治連盟なのか、職能団体なのかとの質問がなされ、首藤連盟会長よりまだ活動目的も決めてお

らず分からない状態であると答弁があった。

；埼玉士会より、介護保険の「住宅改修の理由書」の住宅改修についての専門性を有する者に理学療法士が明記されておらず、混乱しているので文書化をしてほしいとの意見が出された。

(2) 学術局関連

；東京士会より、実習中の事故について協会の方針を問う質問があり、実習制度、訴訟問題も含め議論を重ね見直したいとの返答があった。

；理学療法効果判定プロジェクトを専門領域研究会に引き継がれるというが予算が少なすぎるのではかという意見が出た。

(3) 事務局関連

；理学療法週間の全国紙への広告掲載について目的、予算、費用等について多数の質問、意見、要望が出て議論が白熱した。

；協会と士会とのオンライン化の早期実現が要望された。

2. 平成15年度事業計画案

マスタープランと重点事業が説明され、承認された。

3. 平成15年予算案

収入	371,000,000円
支出	371,000,000円

収支内容が説明され、承認された。

【参加感想】

今回も、代議員会—総会—代議員会—総会と交互に採決が行われた。参加者は200名弱であった。理学療法士は、全国各地で頑張っているが、今回は現場との差が大きく感じられてならなかった。

■各種会議報告□

第38回千葉県理学療法士会総会議事録

日時：平成15年3月2日（日） 11時30分～0時20分
場所：帝京平成大学専門学校

1. 開会の言葉
2. 会長挨拶 吉田久雄会長より
3. 定足数確認

会員数 890名

出席 75名

委任状提出者数 531名

計 606名

*過半数にて総会成立

4. 議長団選出

議長：水江 年城（帝京平成大学専門学校）

副議長：立本久美子（千葉県医療技術大学校）

5. 書記・議事録署名人指名

書記：坂本光弘・大場里恵（千葉県千葉リハビリテーションセンター）

議事録署名人：小松川佳之（千葉県医療技術大学校）

高橋 哲二（佐倉整形外科病院）

6. 議事

①第1号議案 平成15年度事業計画案及び予算案の承認を求める件

<事務局：西山より>

総務部、厚生部、調査部、資料部、財務部、ニュース編集部、組織部について議案書の通り説明

*追加説明：事務局設置の検討がなされているが、会員数が多くなり様々な手続きが遅れているが了承いただきたい。移動願いは速やかに提出していただきたい 来年度、会員数1000名越えると予測。

<学術局：茂木より>

企画部、資料管理部、機関誌編集部、学術単位管理部について議案書の通り説明

*学術研修部より

・部長：小川明宏→小川緑郎に訂正

・新人教育研修会

1) 場所未定→千葉市内の予定

2) 15) 人間関係 I →生涯学習に訂正

1, 2回目ともに専門領域の項目が追加

会場の関係上、参加希望で申し込みをしたら参加して頂きたい。

*機関誌編集部より「原稿が集まらないので投稿して欲しい」

＜社会局：井田より＞

企画部、渉外部、広報部、地域保健福祉部、健康増進部より議案書の通り説明

*企画部はイベント対応のため設立

*介護保険部：部長 結城俊也→高倉秀暢に訂正

＜法人化推進委員会＞＜表彰審査委員会＞＜選挙管理委員会＞議案書の通り説明

*今後、公開講座を増やしていく予定。

*来年選挙予定

質疑：沼南学院 小貫先生

「質問と言うよりお願い。ホームページ（以下HP）担当しているが、PT週間のPR掲載依頼が来たのが2週間前だった。HPを見て来た人が多く、1ヶ月前には連絡を欲しい。」

応答：吉田「現在専門スタッフがない。事務局設立、情報周知をスピーディーにしていきたい。」

井田「HPで情報を見る人が多くなった。県には1年前に、市には半年前に事業計画を出さなければならない。計画が決まった時点で知らせるようにしたい。」

以上

拍手多数にて第1号議案承認

②第2号議案 組織一部改正の承認を求める件：井田より

・議案書の通り説明

・訂正：議案書7ページ「平成15年度千葉県理学療法士会組織図」

→「平成15年度千葉県理学療法士会組織図（案）」

学会長 宮崎→藤井 / 学術研修部 渡辺→小川 / 渉外部 井田→結城

・追加：社会局「企画部」井田

質疑なし

拍手多数にて第2号議案承認

③第3号議案 日本理学療法士協会代議員会議提出議題の承認を求める件：西山より

執行部から提案議題特に出さない。会場から提案特になし。理事会に一任。

以上、拍手多数にて第3号議案承認

*会長より追加報告

次期県PT学会長 藤野リハビリテーション学院藤井先生 平成16年2月29日開催予定



次々期県PT学会長 総泉病院 宮崎先生

総会も同時に開催予定

7. 議長団解任

8. 閉会の言葉

議事録署名人：

小松川 経 
高橋 哲 

●平成 14 年度第 5 回理事会報告

日時：平成 15 年 4 月 23 日（水）
場所：千葉県千葉リハビリセンター
出席者：＜理事＞吉田（久）、井田、茂木、
西山、村永、藤井、石塚
＜委任状＞宮崎、渡辺（良）、高倉
吉田（昌）
＜書記＞坂本

会長行動

- ・3/7 第 57 回関東甲信越ブロック
士会長協議会出席
- ・3/8 藤リハビリテーション学院卒
業式出席
- ・3/12 県地域リハ協議会出席
- ・3/17 県ケアマネージメント協議会
出席
- ・3/21 PTOT 役員連絡協議会出席

<各局報告>

●事務局

総務部

会員動向 施設数：267 施設
会員数：900 名（内、自宅 76）

厚生部 なし

財務部 なし

●社会局

地域保健福祉部 なし

高齢者保健福祉部 なし

健康増進部 なし

●学術局

学術研修部 なし

<議題>

1. 各担当者会議出席の件

平成 14 年度関東甲信越ブロック士会長
協議会

士会長協議会専門報告・会計報告・監査報
告・H15 年度予算について承認された。

・日本理学療法士協会に出す議案について
2 点を提出する。

①診療報酬に関する協会の取り組みにつ
いて

②各県士会への、協会からの還付金の増
額について

・地域リハビリテーション協議会

中核リハビリテーション指定病院につい
て、市川市リハビリテーション病院から
断られた。理由は財政難。
現状は旭中央病院のみ指定病院になっ
ている。今後、県内総合病院へ依頼文を
送る予定。

・ケアマネージメント協議会
障害者版ケアマネを検討中

2. 平成 14 年度事業収支報告の件

5 月中に三役で確認し、監事監査を行っ
た後、議案書を会員に郵送することが了
承された。

◎第 39 回決算総会

日時 6 月 7 日（土） 3 時～4 時

場所 ポートプラザ千葉

3. 関係諸団体からの依頼の件

「パワーリハビリテーション」講演依頼が
千葉県士会宛てに来たことに関して、学術
的な講演依頼であれば、協力できることが
了承された。ただし団体そのものを後援す
る事はない。また、付随するトラブルが発
生した場合、各士会員の判断により解決し
て欲しい旨確認された。

4. その他

・「第 23 回関東甲信越ブロック理学療法
士学会」（千葉県担当）準備報告。

組織として、理事・部長を中心に役員を置き、それぞれに補佐を付ける事が了承された。

日時：平成16年9月4・5日（土日）
場所：浦安文化会館
内容：特別講演2題（予定）
口述発表・ポスター発表

・事務局移転について

千葉中央コミュニティーセンタービル内に設置させることが了承された。
今年度中に移転予定。

・第8回千葉県理学療法士会決算報告書が提出されこの内容について了承された。

・今年度士会学会（案）が提示された。

日時：平成16年2月29日（日）
会場：成田国際文化会館
学会長：藤井（藤リハビリ学院）
準備委員長：石塚（成田病院）

今後の予定 平成15年度第2回理事会
平成15年5月20日（火）開催予定

**●第24回平成15年度PT・OT
士会役員連絡会議事録**

日時：平成15年4月21日（火）
場所：千葉県千葉リハビリセンター
出席者：理学療法士会会長 吉田
副会長 井田
渉外部長 結城
作業療法士会会長 細山
事務局長 伊藤
学術部長 小野寺

議題1、平成14年度合同事業活動報告

ニュース、名簿のやり取りについて
OTから未提出。
PTから未提出。来年度から再開予定。

議題2、平成15年度以降の連絡会継続について（PTからの提案）

10数年前に地域リハを行うに当たり、お互いに会員数が少なかったため、合同研修・合同学術セミナーを行った所からPT・OT士会役員連絡会が発足したが、お互いの会員数増加から合同学術セミナー終了し、各研修会も県からの予算終了により、この役員連絡会の主旨を見直す時期に来た。

案1、PT・OT士会役員連絡会を終了する

案2、発展的に継続する（他職種を招いて規模を大きくする）

次回PT・OT士会役員連絡会に各会の考えをまとめて1年後に再検討する

議題3、その他

◆ PTより

・来年度、関東甲信越ブロック学会を千葉県で開催する。
会員外の参加も認めている。
正式な形でOT・STへ文章を送る予定
時期：平成16年9月第1または第2(土日)
場所：浦安文化会館

会場規模大ホール1300名

小ホール 300名

内容 特別講演
口述演題発表
ポスター発表

ミニシンポジウムは未定

・来年度の千葉県理学療法士学会
開催場所 成田市
学会長 藤井（藤リハビリ学院）

◆ OTより 特になし

◆役員リレーエッセイ（第6回）

電子カルテへの取り組み

亀田クリニック 村永信吾

一言でいうと「電子カルテとは、紙への記載をパソコンへ入力するようになっただけでなく、電子化することで、これまで紙ベースで問題とされていた情報の共有化をはじめとした多くの問題を改善し、医療の質の改善に大きく貢献するツール」だといえます。今回は「電子カルテ」に対する当院の取り組みを紹介させていただきます。

尚ここでの内容は、理学療法士協会編「診療録ガイドライン」に掲載した一部を抜粋して紹介させていただきます。

電子カルテによるカルテの一元管理と一情報の同時共有性への挑戦

情報の共有化とは、「①医療者間コミュニケーション（院内及び院外間）、②医療者一患者間コミュニケーションを基盤とし、種々の専門性を有する医療提供者と患者との協業を通して、積極的に患者が治療に参加できるような良好なパートナーシステムを構築するために、患者と医療側との知識の偏在性を軽減し、医療の質の保証、安全性、さらに医療の効率化を確保するための基本条件である」と考えられます。

リハビリテーション（以下リハ）関連のカルテは、これまで各部門（医師、看護師、PT,OT,ST等）が独自にそれぞれにカルテを所有していることが一般的でした。これにより記載や参照においては比較的行いやすいといった利便性を有していましたが、その反面、それぞれの記録を横断的に共有化することができないといったデメリットも発生していました。平成14年度の診療報酬改訂で、このリハ関連のカルテを患者毎に同一ファイルに保管することが義務化さ

れたことにより、横断的情報の共有化が一步進展したことは記憶に新しいことと思います。

しかし、一患者一カルテを稼働させても紙ベースでのカルテでは、運用に際して多くの問題を抱えていました。例えば、①カルテ搬送業務が増加する、②記載または参照したいときに、他職種が参照しているとタイムリーにカルテを見ることができない、③カルテ貸し出しの際に主治医のサインが必要などといった、「運用上の業務増加」や「情報共有の同時性の困難」といった点です。

しかし電子カルテを利用することでカルテ搬送業務等が省略できたばかりではなく、各部門が共有化された情報へ同時アクセスを可能とし、常に最新の情報を診察室、ベットサイドや在宅等に携帯できるようになりました。

またリハ処方科以外の診療内容も随時参照することなどが可能となり、全病院的に「問題点の共有化」が図れるようになりました。さらに電子化により単一医療施設のみならず地域医療施設のネットワークをスムーズにし、急性期、回復期、維持期といった機能分化に応じた「継続的ケア」の効率を向上させることも期待できると考えられます。

医療システムの見直し ーISO9001を活用してー

しかし、当院も電子カルテ導入当初は、キーボード入力の不得意な医師においては、事務職員が紙カルテの代行入力を行ない、同時に紙カルテを搬送し、参照するといった運用形態でした。部門においては一部が紙カルテへ、一部が電子カルテへ記録され、すべての情報を共有できないと行った点や電子カルテが法的に認可されていないため、毎回紙へ記録内容を出力しなければならない

いといった運用上の不便性もありました。

電子カルテを利用しているスタッフからは、「単に業務内容が増えただけではないか」といった批判的な意見も多かったように思われます。

当院では、これらを踏まえ、単に電子カルテ（ハード）を導入するのではなく、「これまで部門毎に実施されていた業務を病院全体として体系的に整理仕直し、部門の横断的な手順の共有化を押し進めなければ意味がない（ソフト）」として、その中核である情報の共有化を推進するためには、部門の枠組みを越えたルールづくり（具体的には電子カルテシステムを中心とした運用形態、教育体制、用語の統一などの標準化）が必要であると、ISO9001 (International Organization of Standardization 9001 : 以下 ISO9001) を用いた病院全体のルールづくりが開始されました。

この ISO9001 とは、「製品、サービスを作るときのプロセスを標準化するもの」とされ、「顧客（患者）満足度の高い品質のもの（医療サービス）を作り提供するために、その取り組みの品質を保証するためのマネージメントシステムを確立し、その具体的な手順を文書化し、それに従って作業（医療サービス）をすすめ、その手順を検証するためのもの」です。

ここでの文書化には、マネージメントシステムの骨子である「品質マニュアル（病院全体の基本方針のようなもの）」や部門横断的なルール「規定（各部門の基本方針のようなもの）」、さらに各部門の詳細な手順を定めた「手順書（各サービスに対応した具体的な手順）」があります。

このなかで医療サービスの質的改善に電子カルテがどのような役割を持ち、どのような手順で利用されるのかを明確に文書化し示すことで、全病院的にその位置づけ確

立することを図ることから始めました。

しかし、このような取り組みも軌道に乗るまでは「医療を文書化することは不可能」とか「文書化等の余分な仕事が増えた」といった意見も多く聞かれ、理屈では理解できても「余分な作業」としての認識の方がむしろ高かったように記憶しています。

しかし、一度、文書化を完成させてみると病院全体及び部門業務の全体像がみえ、業務における役割と責任や業務の整合性（業務内容、用語統一）が明確化され、さらに横断的な業務内容の共有化も行いやすくなり始めました。電子カルテにおいても、手書きカルテの廃止、手書きカルテの搬送廃止などの運用が系統的に強制され、電子カルテへの記載が義務づけられました。

また各科診療科の記録、報告書類、処方箋、サマリーなどが同一フォーマット上で記載されるようになり、「見やすい」、「見せやすい」といった電子カルテの利便性が向上したことも相まって、現在では「手書きの時代にはもどれない」といった意見が聞かれるほど必要不可欠な存在になりつつあります。

このように、電子カルテとは紙カルテを単に電子化したものではなく、診療情報を中核とした診療情報システムの総称であり、「医療の質の向上」を図るための重要なツールといえます。今後さらに多くの施設においても積極的に導入されていくと考えられますが、各部門間を越えた診療プロセスの標準化が行わなければ、その利便性を満身に享受することは難しいと思われま

当院の次なる課題として、医師のレジデント教育に加え、看護、リハ、栄養室、検査、画像などのコメディカルスタッフの壁を越えた情報の共有化を図ることを目的とした教育制度改革を挙げ、着手し始めたところです。

● **パワーリハビリテーション研修会
のお知らせ**

日時 平成 15 年 6 月 29 日(日)
10:00~16:30

場所 千葉市総合医療センター 大会議室
千葉市美浜区幸町 1-3-9
TEL 043-238-9912

プログラム

1. 「パワーリハビリテーションの理論」
10:00~11:00
埼玉県立大学 中山 彰一氏
2. 「パワーリハビリテーションの実践」
11:00~12:30
日本医科大学第2病院 木村 義徳氏
3. 「パワーリハビリテーションの評価」
13:30~14:30
総合南東北病院 山口 和之氏
4. 「トレーニング機器の使用法と体験」
14:30~16:30
霞ヶ関南病院 岡持 利亘氏

参加費 3,000円
振込先: 東京三菱銀行 武蔵小杉支店
(普) 0474465 パワーリハ研究会
*振込は個人名でお願いします。

◎申し込み方法

氏名、職種、施設名、住所、TEL、FAX、E-MAIL、を記入して FAX にて下記に申し込みをお願いします。

野田病院 リハビリテーション科
水梨 勝次

FAX 04-7127-2073
TEL 04-7127-3200
主催 パワーリハビリテーション研究会
協賛 千葉県理学療法士会
千葉県作業療法士会

※ 次号のニュース原稿の締め切りは ※
※ 平成 14 年 6 月 30 日(水)です ※

【編集後記】

日本PT学会(長野学会)は皆さん行かれましたか?今年より併催となった総会では、藤りハの両角先生が協会理事に見事当選されました。

編集子は職場移転に翻弄されまくりの5月でした。(^_^);
このためニュース108号(6月号)が1月近く遅配となりましたことお詫びいたします。

なお移転に伴い、ニュース原稿の受付も下記の住所に変更となっておりますのでよろしくお願いいたします。

今年中には待望の事務所が開設されますので事務局の住所も近々変更になりますね。お間違いなきよう…(^_^)

千葉県理学療法士会ニュースNO.108
<http://www.kit.hi-ho.ne.jp/pt-chiba/>

発行人: 吉田 久雄

発行所: 千葉県理学療法士会事務局

〒266-0005 千葉市 緑区 誉田町 1-45-2
千葉県千葉リハビリテーションセンター内
tel 043-291-1831 fax 043-291-1857

編集人: 山下 祥司

千葉市立青葉病院 リハビリ科
〒260-0851 千葉市中央区青葉町1273-2
tel 043-227-1131 fax 043-224-0719
mail: JK8S-YMST@asahi-net.or.jp

非常勤 言語・理学療法士 募集

勤務日数：月16日もしくは12日以内
雇用期間：1年以内（更新可）
勤務時間：日勤 8:45～17:30
 休憩12:00～13:00 16:00～16:15
報酬：日額 17100円
その他：通勤手当あり

知的障害者更生施設・知的障害児施設

東京都千葉福祉園

〒299-0241 袖ヶ浦市代宿8番地

tel 0438-62-2711 fax 0438-62-6093

E-mail:tochiba@mx3.ttcn.ne.jp

ホームページ http://www1.ttcn.ne.jp/~tochiba/

理学療法士・作業療法士募集

(デイケア・訪問リハビリ・外来)

募集人員：若干名

待遇：当法人規程による(経験加算あり)

昇給年1回、賞与年2回

社会保険完備

勤務時間：平日①9:00～18:00 ②8:30～17:30

土曜①9:00～13:00 ②8:30～12:30

(実働週40時間)

休日：4週8休、年末年始、有給休暇

勤務地：千葉市美浜区真砂4-2-8

セザール検見川浜1階

千草会クリニック/検見川浜

内科・泌尿器科

リハビリテーション科

JR京葉線検見川浜駅徒歩1分

応募方法：電話連絡の上、履歴書ご持参下さい。

見学だけでもお気軽にどうぞ

デパート・訪問リハに興味のある方

ぜひお越し下さい。

043-270-5811(担当、笠原)

医療法人社団 千草会

青年海外協力隊 募集

理学療法技術をお持ちの皆様へ

青年海外協力隊は、自分の持っている技術と経験を生かして、開発途上国の人々と共に働きながらその国の国造りに協力する、海外ボランティア活動です。約140の職種で春・秋各800人の隊員を募集しています。

募集期間 春 4月15日～5月31日
秋 10月15日～11月20日

●派遣期間/2年間

●応募年齢/20歳～39歳まで

◆お問い合わせはこちらへ

国際協力事業団 関東支部 048-834-7770

千葉県社会部青少年女性課育成班 043-223-2396

義手義足・コルセット
整形器械・松葉杖

有限 会社 宮崎義肢制作所

〒112-0002 東京都文京区小石川2丁目3番26号
電話 03 (3812) 4384 番
FAX 03 (3812) 5092 番

廻って軽く
滑って軽い
ロール・シチュール

車椅子の総合メーカー

ロール・シチュール(株)

〒182 東京都調布市上石原 3-32-1
TEL 0424-84-0300(代表)
長野工場 長野県飯山市大字豊田字右前 5123-30
〒389-24 TEL 02696-5-3443

ic

労災保険・身障法・各種健康保険
生活保護法・厚生年金保険 適用取扱

川村義肢(株) 千葉出張所

〒270 松戸市申崎南町134番地
Tel 0473-89-7271
FAX 0473-89-7982

営業項目

義肢・装具・各種車椅子・電動車椅子
各種ステッキ・ナショナル補聴器
外国製補聴器・各種ベッド・日常生活用具
その他リハビリテーション器具

厚生省・労働省・栃木県指定 義手・義足・コルセットその他一般



(株)福島義肢製作所

宇都宮営業所

宇都宮市川田町794-1
電話 (0286) 35-8700・34-2824

ハイテク
時代の **リハビリテーション機器**

★プランニングから製造までご相談ください



SAKAI 酒井医療株式会社

千葉営業所 〒270-14 千葉県印旛郡白井町横 235-2 TEL (0474)97-1910等

いつも何よりも人々の健康を願って
それが私達の喜び、誇り

安心と信頼の医薬品総合卸



株式会社 チヤク

取締役社長 小池啓嗣

本社 千葉市中央区関屋町3番2号 電話 043 (248) 1001

貴女の心と身体にやさしくフィットする30年の実績が誇る万全のアフターフォロー

日本ウィール・チェアー株式会社

車いす・電動車いす・ベッド・リフト
階段昇降機・歩行補助具
その他 福祉機器全般

千葉支店

千葉市中央区輪の森町12-11 輪の森ビル

TEL 043-264-4939

FAX 043-264-4935

軽く履き心地の良い ●靴型器具

●器具一般

株式会社 大仁商店

〒113 東京都文京区本郷 6-16-1

(東大正門前) ☎ 03 (3811) 3577

♥♥在宅療養をタカサがお手伝いいたします♥♥

- 電動ギャッチベッド
- エアーマット・床ずれ用品
- 車いす・歩行補助用品
- 入浴用品・手すり取り付け
- 階段昇降機・リフト
- 失禁用品・ストマ器具
- リハビリ機器・自動具

●レンタルサービスもいたします

ライフケアタカサ千葉店

〒箱毛区役所隣、モラル大川駅より徒歩5分
043-255-5133

ライフケアタカサ市原店

市原市五井905
0436-23-5335

関節専用筋力訓練・測定システム

COMBIT

コンビット

CB-1

PLUS R

手で運動者の足を押さえ、足から押し返される力が一定の基準に達すると、手に力を入れる——この人間のカンと感覚に頼っていた訓練をコンピュータ制御により行う“PLUS R 訓練”。“ISOMETRIC + CVR”の発想のもと、ミナトが独自に開発した新しい訓練モードです。運動者の筋力に応じて訓練抵抗・速度が変化するCVR訓練(CHANGEABLE VELOCITY AND RESISTANCE = 可変速・可変抵抗)を行い、従来の筋力に到達すると、自動的に等尺訓練(ISOMETRIC)をスタート。さらに一定時間が経過すると再びCVR訓練に戻ります。人にますます近づいたこの高機能——“PLUS R 訓練モード”を開発したCOMBIT CB-1が、筋力の訓練・測定をより一層、人にやさしいものへと変えていきます。

ミナト医科学株式会社

大阪本社	〒252 大塚市堀川原北町3丁目13番11号	TEL (06) 303-7181	FAX (06) 320-1376
東京支店	〒113 東京都文京区本郷3丁目25番9号	TEL (03) 3815-3718	FAX (03) 3818-0840
福岡支店	〒774 福岡市東区中5丁目3番2号	TEL (0947) 89-3011	FAX (0947) 89-3080

トータル リハビリテーション プランナー

物理療法・リハビリテーション・介護福祉機器 製造及び輸入販売



株式会社日本メディックス

本社：〒271 千葉県松戸市南花島向町315-1 TEL.0473-68-8711(代)/FAX.0473-68-1535

大阪・九州・名古屋・札幌・仙台・新潟・大宮・千葉・東京
多摩・横浜・金沢・京都・神戸・広島・高松・鹿児島

高齢者・身障者用リフター
住宅設計・施工・改善工事

有限会社 オオ夕商会

本社〒125 東京都葛飾区柴又 4-33-11
電話 03-3657-9877
ショールーム 電話 03-3657-9877
倉庫 市川市宮久保 5-14-6
電話 0473-71-0747

REHABILITATION
EQUIPMENT

■物理療法器械 ■機能訓練器械 ■作業療法器具
■水治療法器械 ■特殊入浴装置 ■筋力測定・訓練器



OG 技研株式会社

本社・工場 〒703 岡山市海官1835 ☎(0862)77-7181
千葉営業所 〒276 八千代市大和田新田262-10 ☎(0474)86-3112

健康と社会に奉仕する



岩瀬薬品株式会社

医療機器・試薬部

〒285 千葉県佐倉市城535

TEL 043-485-1616(代) FAX 043-485-5242

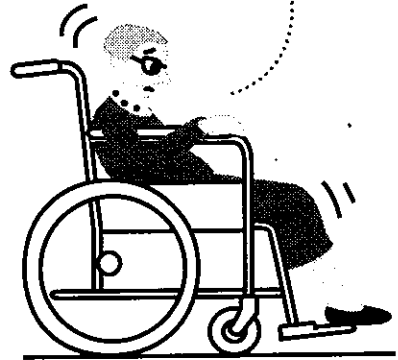
NAIS
松下電工

ぴったりと身体に
フィットする車いすは、
正しい姿勢を
サポートします。



モフィットなら
正しい姿勢で
座れます。

身体に合わない
車いすは無理な
姿勢の原因。
お年寄りには
大きな負担です。

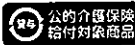


正しい姿勢で座ること。
モフィットはその大切さにこだわった車いす。
モジュールパーツの組み合わせと、細かな調整で、
ひとりひとりに快適なフィット感をお届けします。

モフィット
mofit

NAIS モジュール車いす

希望小売価格(標準セット)
178,000円(非課税)



●幅広いサイズをご用意しています。
座幅36~42cm、座奥行38~42cm、前座高39~45cm

車いすのスタンダードへ、「モフィット」誕生。



Smart Solutions by NAIS

介護 知恵メール <http://www.net-kaigo.com>

モフィットが、月々9,000円でレンタルできます

■ご購入・レンタルのご相談は、

介護用品の販売・レンタル



松下電工

エイジフリー介護チェーン

介護リフォーム

在宅介護サービス

- [千葉都町] 千葉市中央区都町2-12-1 TEL.043 (231) 3394
- [千葉船橋] 船橋市栄町1-21-28 TEL.047 (435) 1200
- [千葉北インター] 千葉市稲毛区長沼原町286-4 TEL.043 (286) 4383
- [松戸] 松戸市小金原6-5-10 TEL.047 (340) 1165
- [市川] 市川市八幡2-13-20矢高ビル1F TEL.047 (335) 6811
- [柏] 柏市加賀3-25-11黒沢ビル1F TEL.0471 (71) 3388
- [八千代] 八千代市ゆりのき台5-1-1イーグル八千代1階3号TEL.047(405)1148